

新春を迎えて



一宮市議会議長
八木 丈之

あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、明るく健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、3年ぶりに行動制限を伴わないゴールデンウィークやお盆休みを迎えることができました。新型コロナウイルスの感染はいまだ終息はしていませんが、かつての日常を取り戻す兆しが見えつつあるように思われます。皆さまにとっても、家族や友人と共に過ごす時間の尊さを感じた一年ではなかったでしょうか。

依然として感染症をめぐる油断のならない状況が続いている一方で、ウクライナ紛争、資源価格の高騰、歴史的といわれる円安など不測の事態が次々と発生し、市民生活や地域経済に大きな影響を与えています。

本市は、本年も引き続き市民の皆さまの健康と生活を守ることを最優先に、ワクチン接

種をはじめとする感染症への対策に取り組むとともに、地域経済の安定を図る施策を進めてまいります。

市議会といたしましても、一宮市のさらなる飛躍を目指し、課題解決に向けてしっかりと審議するため、昨年「名岐道路・スマートインターチェンジ推進特別委員会」を設置し、より暮らしやすいまちづくり、魅力あるまちづくりについて議論を深めてまいります。

今後とも、議員一丸となり、さまざまな課題に対し迅速かつ的確な施策を実現できるよう、予算の審議などを通じて、力を尽くしてまいりますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本年こそは平穏な日常生活が戻り、皆さまにとって幸多き年となりますよう祈念いたしまして、年頭のあいさつといたします。